

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公表番号】特表2016-506698(P2016-506698A)

【公表日】平成28年3月3日(2016.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2016-013

【出願番号】特願2015-551816(P2015-551816)

【国際特許分類】

H 04 N 19/70 (2014.01)

【F I】

H 04 N 19/70

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月20日(2016.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

方法を実行するよう適合されたコンピューティング・デバイスであって、前記方法は、ビデオ・シーケンスの所与のユニットの符号化ピクチャ・バッファ引き抜き遅延(CPBRD)値を設定するステップであって、前記所与のユニットの前記CPBRD値は、復号化順で先行するピクチャがバッファリング期間SEIメッセージを有しているかどうかにかかわらず、前記先行するピクチャの名目上の符号化ピクチャ・バッファ(CPB)引き抜き時間に対するインクリメント値を示す、ステップと、

前記所与のユニットの前記CPBRD値をシグナリングするステップと、
を含む、コンピューティング・デバイス。

【請求項2】

前記所与のユニットは、バッファリング期間SEIメッセージを有する現ピクチャのアクセス・ユニットであり、前記CPBRD値は、前記CPBRD値-1を表すシンタックス要素として、前記バッファリング期間SEIメッセージにおいてシグナリングされる、請求項1記載のコンピューティング・デバイス。

【請求項3】

前記所与のユニットは、ランダム・アクセス・ピクチャ又はランダム・アクセス・ピクチャの一部分であり、前記CPBRD値をシグナリングすることは、前記ランダム・アクセス・ピクチャで始まるスプライシングを容易にする、請求項1記載のコンピューティング・デバイス。

【請求項4】

前記方法は、

前記所与のユニットの別のCPBRD値を設定するステップであって、前記所与のユニットの前記別のCPBRD値は、バッファリング期間SEIメッセージを有する、復号化順で先行するピクチャの名目上のCPB引き抜き時間に対するインクリメント値を示す、ステップと、

前記別のCPBRD値-1を表すシンタックス要素として、ピクチャ・タイミングSEIメッセージにおいて、前記所与のユニットの前記別のCPBRD値をシグナリングするステップと、

をさらに含む、請求項1記載のコンピューティング・デバイス。

【請求項 5】

前記所与のユニットの前記 C P B R D 値は、前記所与のユニットの別の C P B R D 値と、C P B R D 差分値のための前記先行するピクチャの C P B R D 値と、の差を示す前記 C P B R D 差分値であり、前記方法は、

前記所与のユニットのフラグをシグナリングするステップと、

前記所与のユニットの前記別の C P B R D 値を設定するステップであって、

前記フラグの第 1 の値に関して、前記所与のユニットの前記別の C P B R D 値は、バッファリング期間 S E I メッセージを有する、復号化順で先行するピクチャの名目上の C P B 引き抜き時間に対するインクリメント値を示し、

前記フラグの第 2 の値に関して、前記所与のユニットの前記別の C P B R D 値は、妥当でない、

ステップと、

前記所与のユニットの前記別の C P B R D 値をシグナリングするステップと、

をさらに含む、請求項 1 記載のコンピューティング・デバイス。

【請求項 6】

コンピューティング・デバイスにおける方法であって、

ビデオ・シーケンスの所与のユニットの符号化ピクチャ・バッファ引き抜き遅延 (C P B R D) 値を受信するステップであって、前記所与のユニットの前記 C P B R D 値は、復号化順で先行するピクチャがバッファリング期間 S E I メッセージを有しているかどうかにかかわらず、前記先行するピクチャの名目上の符号化ピクチャ・バッファ (C P B) 引き抜き時間に対するインクリメント値を示す、ステップと、

前記所与のユニットの前記 C P B R D 値を解析するステップと、

を含む、方法。

【請求項 7】

前記所与のユニットの前記 C P B R D 値は、第 1 の C P B R D 値であり、前記方法は、

前記所与のユニットの前記 C P B R D 値のタイプのインジケーションを受信及び解析するステップであって、前記インジケーションは、前記所与のユニットの第 2 の C P B R D 値が、前記第 1 の C P B R D 値と、前記第 1 の C P B R D 値のための前記先行するピクチャの第 3 の C P B R D 値と、に基づく合計と比較して制約されるかどうかを示す、ステップと、

前記第 2 の C P B R D 値を、前記第 3 の C P B R D 値と前記第 1 の C P B R D 値とにに基づく合計と比較することにより、データの損失を検出するステップと、

をさらに含む、請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】

コンピューティング・デバイスに方法を実行させるコンピュータ・プログラムであって、前記方法は、

第 1 ビデオ・シーケンスの第 1 ビットストリームの少なくとも一部分を受信するステップと、

第 2 ビデオ・シーケンスの第 2 ビットストリームの少なくとも一部分を受信するステップであって、前記第 2 ビデオ・シーケンスの所与のユニットの符号化ピクチャ・バッファ引き抜き遅延 (C P B R D) 値は、復号化順で先行するピクチャがバッファリング期間 S E I メッセージを有しているかどうかにかかわらず、前記先行するピクチャの名目上の符号化ピクチャ・バッファ (C P B) 引き抜き時間に対するインクリメント値を示す、ステップと、

前記第 2 ビデオ・シーケンスの少なくとも一部を、前記第 1 ビデオ・シーケンスの少なくとも一部にスライシングするスライシング・ステップであって、前記所与のユニット又は前記所与のユニットを含むピクチャで始まる前記第 2 ビデオ・シーケンスの前記少なくとも一部を、前記第 1 ビデオ・シーケンスの前記少なくとも一部に連結する連結ステップを含むスライシング・ステップと、

を含む、コンピュータ・プログラム。

【請求項 9】

前記所与のユニットの別の C P B R D 値は、バッファリング期間 S E I メッセージを有する、復号化順で先行するピクチャの名目上の C P B 引き抜き時間に対するインクリメント値を示し、前記方法は、

前記スプライシング・ステップの一部として、妥当でないものとして前記所与のユニットの前記別の C P B R D 値をマーキングするステップ

をさらに含む、請求項 8 記載のコンピュータ・プログラム。

【請求項 10】

前記連結ステップは、

前記所与のユニット又は前記所与のユニットを含むピクチャのバッファリング期間 S E I メッセージを連結するステップであって、前記バッファリング期間 S E I メッセージは、前記所与のユニットの前記 C P B R D 値のタイプのインジケーションを含むとともに、前記所与のユニットの前記 C P B R D 値をさらに含む、ステップと、

ピクチャ・タイミング S E I メッセージを連結するステップであって、前記ピクチャ・タイミング S E I メッセージは、前記所与のユニットの別の C P B R D 値を含む、ステップと、

を含む、請求項 8 記載のコンピュータ・プログラム。